

# 第1学年 国語科学習指導案

指導者

## 1 単元名

～なかがわりえこさんのおはなしをよもう～

こえにだしてよもう「くじらぐも」「ぐりとぐらのかいすいよく」「たからさがし」他

## 2 指導観

こんな子どもたちだから

- 本学級には、朝の読書活動が好きだという子どもが72%、読み聞かせが好きだという子どもが95%、作者に着目して読書をしているという子どもが36%いる。 (意欲・関心)
- 「おむすびころりん」では、さし絵やことばに着目して、場面の様子を想像したり、声に出して読んだりする学習を経験し、書いてあることの大体を読み取ることはできている。 (学び方)
- さし絵やことばを手がかりにして読み取った場面の様子や登場人物の気持ちを聴き合うことで、あらすじの違いやお話のおもしろかったところについて気付くことができつつある。 (認識)

こんな教材を使って

### ○単元のねらい

本単元では、「読むことの楽しさや喜びを感じながら音読したり、叙述とさし絵を手がかりにしたりして、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読むこと」をねらいとしている。また、このお話の作者との出会いから、同一作者のお話を読んでみたいという子どもたちの読書意欲につながることも期待できる。

### ○学習指導要領への意義

1年生の物語文を読むことの領域の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。そこで「くじらぐも」の作者である中川李枝子のいろいろな本との出会いから、学習を通してお話を読むことの楽しさを体験することは「楽しんで読書しようとする態度を育てる」上で価値高いと考える。

### ○テーマへの意義

いろいろな中川李枝子のお話を比べて読むことで、お話を比べる楽しさや同一作者の話に共通する視点に興味をもち、読み広げていこうとする読書意欲を高めていくことは、「読むこと」を通して考える力を身に付け、豊かな学びをつくる子どもを育てる上で意義深いと考える。

こんな手立てで (方法)

### ○つかむ段階では

絵や冒頭の部分から「くじらぐも」への興味を高め、これから先のお話に期待感をもたせ、読みのめあてをとらえさせる。交流活動を通して読みのめあての答えから学習計画を立て「くじらぐも」を読み深める視点をもたせる。

### ○さぐる段階では

あらすじをとらえたときに子どもたちから出された疑問をもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを読み深めていく。その際、さし絵と叙述をつないで考えマップを作り、それぞれの場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、読み取りをまとめていく。「くじらぐも」の中に書かれているなかよしになる過程を聴き合い、自分の考えを見直していく。

自分の考えの変容に気付くことができるように自己評価カードを書き、ポートフォリオに残していくようにする。

### ○あらかわす段階では

「くじらぐも」の読みのまとめから、学習問題「他の中川さんのお話はどうやってなかよしになるのかな」へつなぐ。「なかよし」について同一作者のお話を比べ、読んだお話のあらすじの相違点を聴き合わせることで、なかよしになる過程にはいろいろあることに気付かせ、これまでのなかよしに対する自分の考えを見直していけるようにする。

中川李枝子

目指す子どもの姿

- ◎ 中川李枝子のいろいろなお話に興味をもち、進んで読もうとしている。 (意欲・関心)
- ◎ さし絵と叙述をつないで読んだり、ことばを手がかりに場面の様子や登場人物の気持ちを想像したりして聴き合うことができる。 (学び方)
- ◎ 聴き合い活動を通して、同一作者のお話から「なかよし」になる過程の違いやなかよしになることの楽しさについて考えを見直すことができる。 (認識)

3 単元カリキュラム

国語科部テーマ

「読むこと」を通して、考える力を育てる国語科学習

前単元

いろいろな  
おむすびころりんを  
読もう

○場面の様子や登場人物の気持ちを書き絵や文章から想像を広げながら読み、昔話のおもしろさを見直す聴き合い活動

たくさんのお話を読むと、いろいろな「なかよし」があることが分かるね。

○主な聴き合い活動

学習問題「他の中川さんのお話は、どうやってなかよしになるのだろう。」について、お話のあらすじや登場人物を比べて聴き合い、なかよしになる過程の違いを見直している。

○主なポートフォリオ評価

今までの考えのポートフォリオをもとに、中川李枝子の作品に見られるなかよしになる過程について、考えをまとめ、友達の考えを付け加え、自分の考えを見直している。

次単元

おはなしを  
たのしもう  
「たぬきの糸車」

○場面の様子や登場人物の気持ちを想像したり、声に出して読んで、お話のおもしろさを見直す聴き合い活動

さし絵

あおい空のなかへかえっていききました。

さいごのはなし「お別れ」  
せんせいごときいをみておどろくと「さようなら。」

さし絵

「もつとたかく もつとたかく。」と、くじらもおうえんしました。「さあ、およぐぞ。」  
くじらは、あおい 空のなかをげんきいっばいすすんでいきました。

さし絵

はじめのはなし「出会い」  
四じかんめのことです。  
空に大きなくじらが…。  
まっしろい●くじらです。  
○こどもたちがたいそうをしてい

くじらもたいそうをはじめました。  
なかのはなし「みんなまで遊ぶ」  
みんながさそうと

「ここへおいでよう。」  
くじらも さそいました。

くじらぐも

ぐりとぐらのかいつく

- ぐりとぐら
- かいつくよくよく
- ぐりとぐらがびんをみつける
- うみぼうずからのてがみがいっていた
- うみぼうずにあう
- こまっついでうみぼうず
- うみぼうず
- うみぼうず
- あそぶ
- うみぼうずのおわかれ

たからさがし

- ゆうじ
- つえをみつめる
- うさぎのギックもみつける
- どちらのものにするかけんかになり、しょうぶをする
- ギックのおばあちゃんにつえをわたす
- よろこぶおばあちゃんをみる
- 三人でたのしいおやつのかん

とつてもいいなわ

- ゆうじ
- なわをいぼんひろう
- くますけといっしょにあそぶ
- なわがのびる
- もりのなかがあつまる
- なかまとのおわかれ
- なわがきれる
- ふたりでなわをわける

くまのたんじょうび

- ちいさなくま
- ひとりぼっちのたんじょうびあんなないじょうをだしにい
- とちゅうであんないじょうがとんでいく↓おいかける
- おいかけるうちにともだちがふえる
- みんなでおたんじょうびをいわう

4 指導計画 (計14時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 ◇=評価規準 ・=意識	指導上の留意点と評価方法 ○=留意点 ◆=評価方法	配時
つかむ	1 題名, 冒頭から, 読みのめあてをつくる。 ○ 題名について考える。 ○ 冒頭の部分を読み, 感想と疑問を交流し, 読みのめあてをつくる。	・くものくじらは, どうして子どもたちのところであらわれたのだろう。	○題名や冒頭の部分から, くじらぐもが突然現れたことを読み取らせ, お話への興味を高める 《支援①⑧》 ◆発言分析	1
	〈読みのめあて〉 空にあらわれたくものくじらが, これからなにをするおはなしだろう。			
	う。 (1) さし絵をもとに, あらすじをとらえる。 (2) 読みのめあてに対する答えを書きまとめる。	らえている。 ・くじらぐもは, みんなとあそびたくてあらわれたのかな。 ・くじらはみんなといろいろなことをしたんだね。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>交流活動①</b>                      ●全体                      ・不十分な点から疑問を見付ける聴き合い活動                 </div> 並へ答える活動を取り入れたりして, あらすじを確かにつかむことができるようにする。 《支援④⑧》 ◆発言・学習プリント・ポートフォリオ分析	1 1
	〈読みのめあての答えの方向〉 空にあらわれたくものくじらが, 子どもたちといっしょにたいそうしたり, おうえんしたり, げんきいっぱい空のなかをすすんでいたりして, さいごは子どもたちとわかれてあおい空のなかへかえっていったおはなし			1
.....	ところを出し合い, 学習計画を立てる。	る。 ・どうして子どもたちといっしょにたいそうしたり, おうえんしたりしたのかな。	○登場人物のしたことをもとに, 考えマップをつくることができるようにする。 《支援②⑥》 ◆発言・学習プリント分析	1
さぐる	4 読みのめあての答えをもとに学習計画に沿って, それぞれの場面を読み深める。 (1) くじらぐもと子どもたちが, 体操をするときの様子や気持ちを読み深める。	◇登場人物になって動作化したりことばを比べたりして気持ちを想像し, ふきだしや考えマップに書いている。	○登場人物になりきって気持ちを表現できるように動作化を取り入れたり, ふきだしや, 考えマップに書かせたりする。 《支援②③》 ◆考えマップ分析	1
	(2) くじらぐもが子どもたちを誘うときの様子や気持ちを読み深める。	◇場面ごとのお話を「なかよし」に着目して自分なりに考えている。	○内容を理解できているか, 聴き合いの中で答えさせるようにする。 《支援③④》	1
	(3) くじらぐもに, 子どもたちが乗るときの様子や気持ちを読み深める。	・くじらが子どもたちの真似をしたのは, 一緒にいろんなことをしてなかよくなりたかったからなんだね。	◆活動の様子の観察	1
	(4) くじらぐもと子どもたちが, 旅をするときの様子や気持ちを読み深める。			1

	<p>(5) くじらぐもと子どもたちが、別れるときの様子や気持ちを読み深める。</p> <p>5 読み深めたことをもとに、読みのまとめと読み方のまとめをし、重ね読みの読書への問題を考える。</p> <p>(1) 5つの場面のくじらぐもと子どもたちが、なかよしくなっていく様子を整理する。</p> <p>(2) 「くじらぐも」で読み深めたことを、考えマップをもとに聴き合う。</p>	<p>◇ポートフォリオを使って読み方のまとめをしている。</p> <p>◇「くじらぐも」のお話を振り返り、聴き合いを通して読みが深まったところを、友達に伝えている。</p> <p>・くじらがしたことは全部、子どもたちとなかよしくなることとつながるんだね。</p>	<p>○お話のおもしろかったところや音読を工夫したところを聴き合う。</p> <p>《支援②⑥》</p> <p>◆発言・学習プリント・考えマップ・自己評価カード・ポートフォリオ分析</p>	1
	<p>〈「くじらぐも」の読みのまとめ〉くじらぐもが子どもたちのまえにあらわれていっしょにたいそうしたり、おうえんしたりしたのは、なかよくなりたかったからだ。</p>		<p>○作者のいろいろなお話を読むことができるように本を用意する。 《支援⑧》</p> <p>◆活動の様子を観察</p>	1
	<p>○ 読みのまとめから学習問題をとらえ、重ね読みの読書につなげる。</p>	<p>・他にもこんなにあるんだな。読んでみたいな。</p>		
	<p><b>学習問題：</b>ほかのなかがわさんのおはなしは、どうやってなかよしくなるのだろう。</p>			
あ ら わ す	<p>6 いろいろな中川李枝子のお話を読み、聴き合いを通していろいろな「なかよし」を比べる。</p> <p>(1) 中川李枝子の4つのお話の中から1つを選び、読む。</p> <p>①「ぐりとぐらのかいすいよく」</p> <p>②「たからさがし」</p> <p>③「とってもいいなわ」</p> <p>④「くまのたんじょうび」</p> <p>○ 重ね読みの本を読み、考えマップをつくる</p> <p>○ 重ね読みの本を聴き合うためのフリップをつくる。</p> <p>(2) 聴き合いをして、お話を比べ、いろいろななかよしについて考えを見直す。</p> <p>○ 話の内容を楽しく伝えるようにグループで聴き合う。</p> <p>○ 5つのお話を比べるため、全体で聴き合う。</p> <p>7 単元全体を振り返る。</p> <p>○ 読みのまとめをする。</p>	<p>◇学習問題から、選んだ本のなかよしくなる過程を見付けることができる。</p> <p>◇友達と対話をして自分の読み取りや友達の読み取りのよさを感じている。</p> <p>・このお話では、なかよしくなって、友達がどんどん増えていくね。</p> <p>・このお話では、けんかをしてでも仲直りをしているよ。そうすれば前よりなかよしくなるね。</p> <p>・いろいろななかよしくなる方法があって楽しかったな。</p> <p>・なかがわりえこさんのお話っていろいろななかよしがあって楽しいな。もっと読んでみたいな。</p> <p>◇作者の他のお話に関心をもって読もうとしている。</p>	<p>○4つのタイプの中川李枝子のお話を準備し、一人に一冊ずつコピーしておき、全員に一度読ませておく。</p> <p>《支援⑧》</p> <p>◆活動の様子を観察</p> <p>○教科書の「くじらぐも」をもとに違いを考えさせる。 《支援②⑥》</p> <p>◆考えマップ・フリップ・ポートフォリオ分析</p>	1
			<p><b>交流活動③</b></p> <p>●異質グループ・全体</p> <p>・共通点、相違点をもとに、考えを見直す聴き合い活動</p> <p>○聴き合い活動を通して、フリップやポートフォリオを見て話の展開の仕方の違いや、なかよしの違いに気付いている。 《支援④⑨》</p> <p>◆発言・自己評価カード分析</p> <p>○ポートフォリオを使って単元を振り返り、さらなる読書活動へと意欲をもっている。 《支援②⑧》</p> <p>◆ポートフォリオ分析</p>	1 本 時

## 5 本時

互いが読んだ中川李枝子のお話のなかよしになる過程について聴き合い、自分の考えを見直す時間  
(13/14)

## 6 本時の目標

- 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付き、想像を広げながら、楽しんで読書をしようとする意欲をもつことができる。(学習指導要領から)
- 自分が読んだ中川李枝子のお話と友達が読んだものとを比べながら、「なかよし」について聴き合い、互いの読み取りや、お話の同じところや違うところについて考えることができる。(テーマから)

## 7 本時の授業仮説

「くじらぐも」と中川李枝子のお話のなかよしになる過程の違いを比べる聴き合い活動を設定し、お互いの読み取りのよさを評価するポートフォリオ評価を行えば、子どもたちのお話を読む新しい視点を広げることができ、自分も「なかよし」に対する考えを見直すことができるであろう。

## 8 本時指導の考え方

### ○本時のねらい

本時は、互いが読んだ中川李枝子のお話についてグループや全体での交流を通して聴き合い、いろいろな話を比べてなかよしになる過程の違いに気付くことをねらいとしている。

子どもたちは前時まで、教科書教材の「くじらぐも」を読み深めた後に、副教材として作者中川李枝子の4つのお話「ぐりとぐらのかいすいよく」「たからさがし」「とってもいいなわ」「くまのたんじょうび」を読んでいる。子どもたちは、その中から一つのお話を選び、そのお話のあらすじや「なかよし」になる過程を聴き合うためにフリップにまとめている。聴き合うことで、お話を比べる楽しさや同一作者のお話に通じる視点に興味をもち、読み広げていこうとする読書意欲を高め、考える力を育てることができると考えている。

### ○交流活動の工夫について

入門期の子どもたちであってもお話の内容を楽しく伝えることができるように、フリップや尋ねる文を使って聴き合うようにさせたい。その中で尋ねられたことに対して、自分の予想と答えが違ったときに「どうして。なぜ。」という疑問や驚きが起こるであろう。その気持ちに答えるためには、お話の内容に触れた解説が必要になる。根拠となる文を提示することで、聴き手に「なるほど。」と思わせることができる。そのことが、読み取ったお話を聞かせることにつながってくる。そのため、フリップやポートフォリオを使って、聴き合いをグループから全体へと形態を移し、自分や友達の読んだお話の「なかよし」になる過程の違いや共通点に気付いていくようにしていく。

### ○評価活動の工夫について

評価活動は、お互いのよさを評価する相互評価を行う。自分のがんばりや友達のよさがわかるような自己評価カードを準備する。子どもが書いた自己評価カードの最後には教師も評価の規準にそって評価をするようにする。三者での評価をすることによって自分のがんばりや友達のよさに気付き、読み広げていこうとする意欲を喚起できると考える。

#### ・規準に満たない子への支援

評価規準に満たない子へは、事前の把握で個別指導をしておき、自信をつけてから本時を迎えるようにしておく。また、フリップや考えマップのあらすじや、選んだ文に付箋を貼っておき、ポートフォリオですぐに振り返ることができるようにする。

## 9 準備

学習の流れ図、授業用資料、考えマップ、フリップ、ポートフォリオ、重ね読みをした作品に関連する同一作者の本、自己評価カード

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
		基準A	基準B	
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時までに、重ね読みの本の自分たちの読み取りをまとめていることを確認する。</p> <p>(2) 各自がつくった話のフリップをもとに聴き合うことを確認する。</p> <p>(3) 教科書教材と副教材を重ね、「なかよし」の視点に沿って相違点を見付けることを確認する。</p>	<p>○学習の流れ図や、ポートフォリオで前時学習を想起させる。</p> <p>○それぞれの考えを聴き合い、根拠をもとに答えを見付けていく必要感からめあてをつかませていく。</p>	<p>・それぞれがとらえたお話の「なかよし」に対する考えを進んで聴き合いたいと思っている。</p>		<p>学習の流れ図</p> <p>授業用資料</p>
<p><b>学習問題：</b>ほかのなかかわさんのおはなしはどうやってなかよしになるのだろう。</p>				
<p><b>本時のめあて：</b> おはなしのあらすじをくらべてききあい、どうやってなかよしになっていくのかかんがえよう。</p>				
<p>2 いろいろな中川李枝子のお話のなかよしになる過程について聴き合い活動をする。</p> <p>(1) グループで聴き合う。</p> <p>○違いの根拠となる叙述を示しながら自分の考えを述べる。</p> <p>①「ぐりとぐらのかいすいよく」</p> <p>②「たからさがし」</p> <p>③「とってもいいなわ」</p> <p>④「くまのたんじょうび」</p> <p>(2) 全体での聴き合いを通して、お話のなかよしになる過程を比べる。</p> <p>○代表児童の発表をもとに中川李枝子のお話のなかよしになる過程の違いを比べる。</p>	<p>○前時に自分の考えをまとめたポートフォリオをもとに発言させる。</p> <p>○代表児童には根拠とつながりながら自分の考えを述べさせる。聴き手には、自分の考えと比べながら質問や感想を述べさせる。</p>	<p>・自分の読んだお話のなかよしになる過程をくわしく聴き合うことができる。</p>	<p>・自分の読んだお話のなかよしになる過程を聴き合うことができる。</p>	<p>考えマップ</p> <p>フリップ</p>
<p>まとめ：おはなしをくらべてよむと、だれとだれがどうやってなかよしになったか、いろいろななかよしになりかたがあるのがわかるね。</p>				
<p>(3) 「いやいやえん」「ぐりとぐらシリーズ」など、4つの作品と内容が関連した同一作者の本を紹介する。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(3) 本時の学習を振り返り、自己評価カードを書く。</p>	<p>○自分の考えの変化や友達の考えを自己評価カードに記入させ、感想を述べさせる。</p>	<p>・なかよしになる過程にはいろいろあることに気づき、なかよしになるよさや読書の楽しさを自分なりに文章に表している。</p>	<p>・なかよしになる過程にはいろいろあることに気づき、読書の楽しさを自分なりに文章に表している。</p>	<p>ポートフォリオ</p> <p>重ね読みをした作品に関連する同一作者の本</p>
<p>＜本時で目指す子どもの姿＞おともだちとお話を比べると、みんなで遊ぶなかよしだけではなく、他にもなかよしのなりかたがあるのだなと思いました。中川さんのほかのお話もっと読んでみたいです。</p>				
<p>4 次時の学習を知る。</p>		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・聴き合い活動を通して、自分の考えと友達の考えから、中川李枝子のお話の違いを見付けることができる。</p>		<p>自己評価カード</p>

